



はじめに

- [Cisco Prime Collaboration Deployment の概要 \(1 ページ\)](#)

Cisco Prime Collaboration Deployment の概要

Cisco Prime Collaboration Deployment は、Unified Communications (UC) アプリケーション管理を支援するアプリケーションです。クラスタの古いソフトウェアバージョンの新しい仮想マシンへの移行、フレッシュインストール、および既存クラスタのアップグレードなどを実行できます。

Cisco Prime Collaboration Deployment には、以下の 3 つの主要な高度機能があります。

- 既存のクラスタ上での操作の実行 (11.5以降)。これらの操作の例には以下のようなものがあります。
 - アップグレード
 - バージョンの切り替え
 - 再起動
- 既存のリリース 11.5 以降のクラスタで、クラスタ内の IP アドレスまたはホスト名を変更します。



重要 このドキュメントで言及されているすべての IP アドレスは、IPv4 アドレス形式です。

- 新規のリリース 11.5、12.x または 14 Unified Communications クラスタの新規インストール

Cisco Unified Communications Manager または IM and プレゼンスサービスの新しいリリースにアップグレードまたは移行するには、このガイドと *Cisco Unified Communications Manager* および *im And* プレゼンスサービスのアップグレードおよび移行ガイドを参照<http://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/unified-communications-manager-callmanager/>

[products-installation-guides-list.html](#) してください。このガイドでは、アップグレードの計画とアップグレード前およびアップグレード後の手順について説明します。



(注) Cisco Prime Collaboration Deployment 機能は、特定のソフトウェアバージョンに対してのみサポートされます。各 Cisco Prime Collaboration 導入機能と互換性のあるソフトウェアバージョンの詳細について[アプリケーションとバージョンに対してサポートされているタスク](#)は、を参照してください。サポートされているアップグレードパスの[輸出規制対象ソフトウェアと輸出規制対象外ソフトウェアのアップグレードパス](#)詳細については、を参照してください。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。